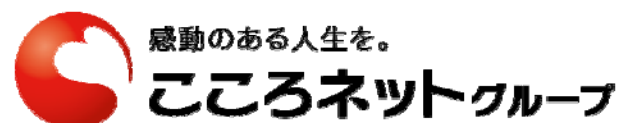




2019年3月期 決算説明資料

証券コード：6060

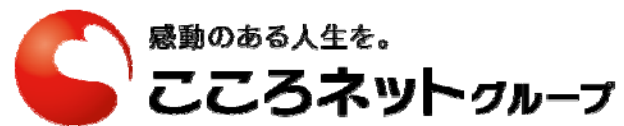
2019年6月7日



目次

会社概要	1
連結決算概要	6
事業別決算概要	11
新中期経営計画の概要	16
参考資料	24

会社概要

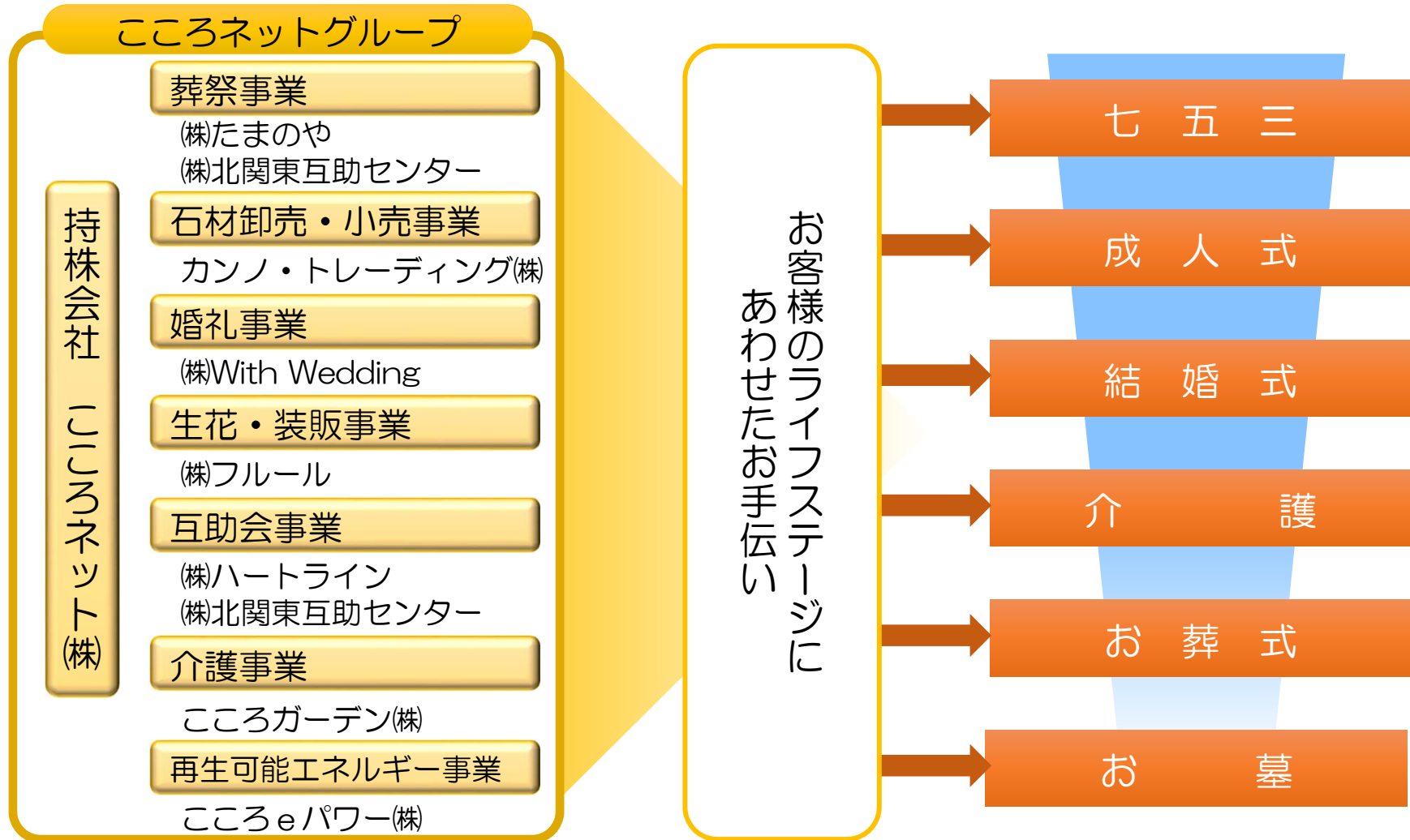


持株会社の概要

商号	こころネット株式会社
発足	2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	福島県福島市鎌田字舟戸前15-1
代表者	代表取締役会長 菅野松一 代表取締役社長 齋藤高紀
資本金	5億65万円
決算日	3月31日
従業員数	グループ：580名 [外、臨時従業員27名] / 単体：32名 (ともに2019年3月31日現在)
事業内容	グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、不動産管理、 総務・経理・人事等の管理業務

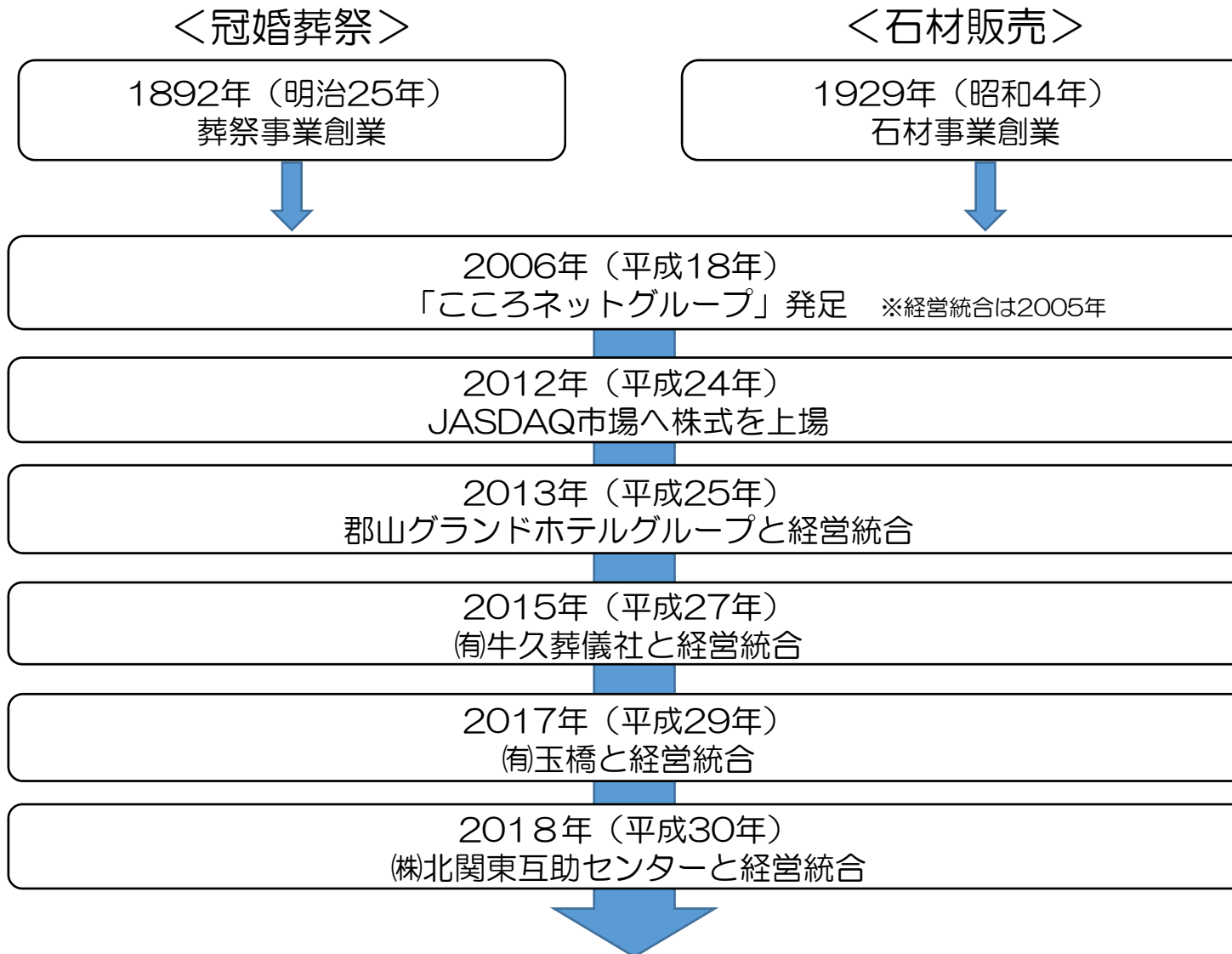
■2012年4月にジャスダック市場へ株式上場

グループの事業内容

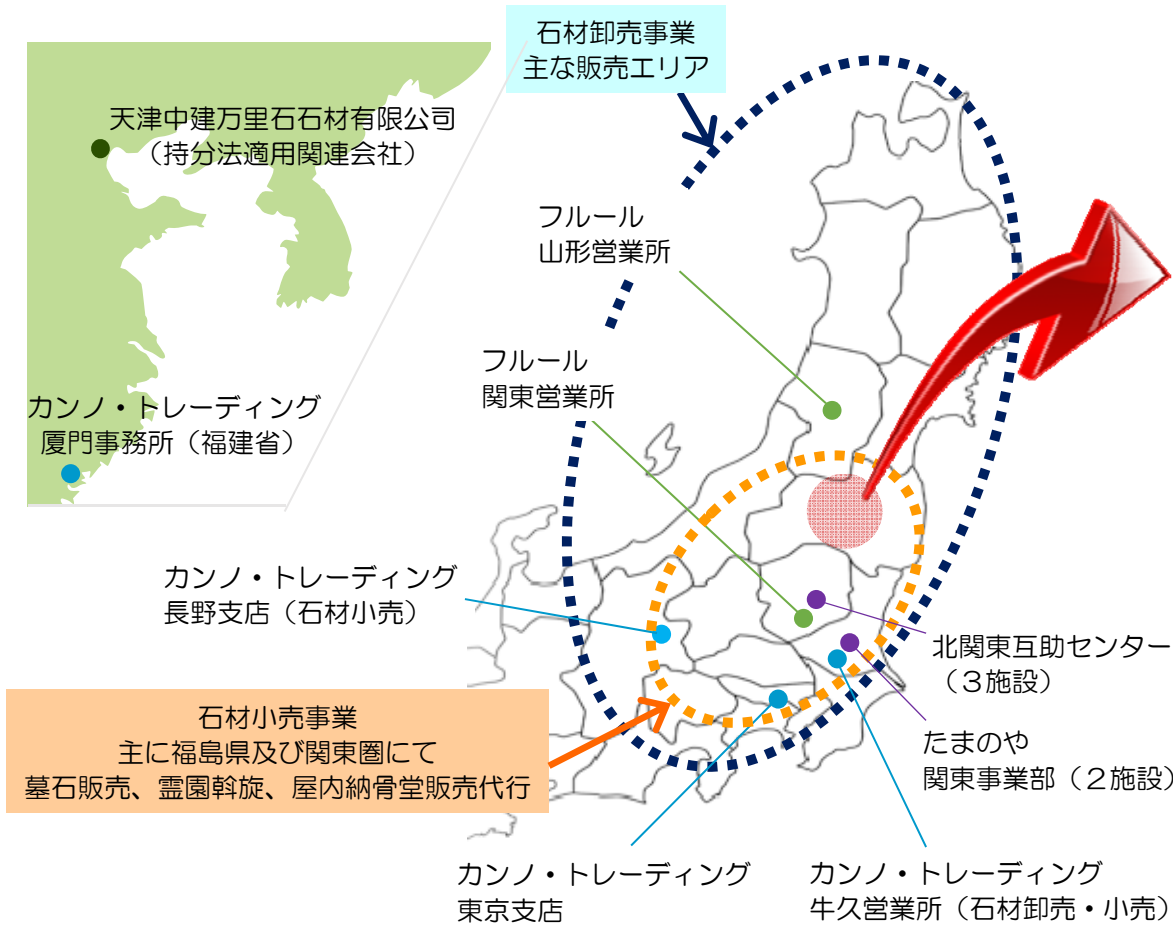


トータルライフサポート

沿革



営業エリア

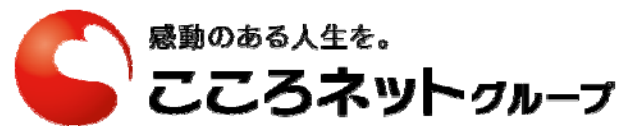


福島県内の主な営業拠点、施設

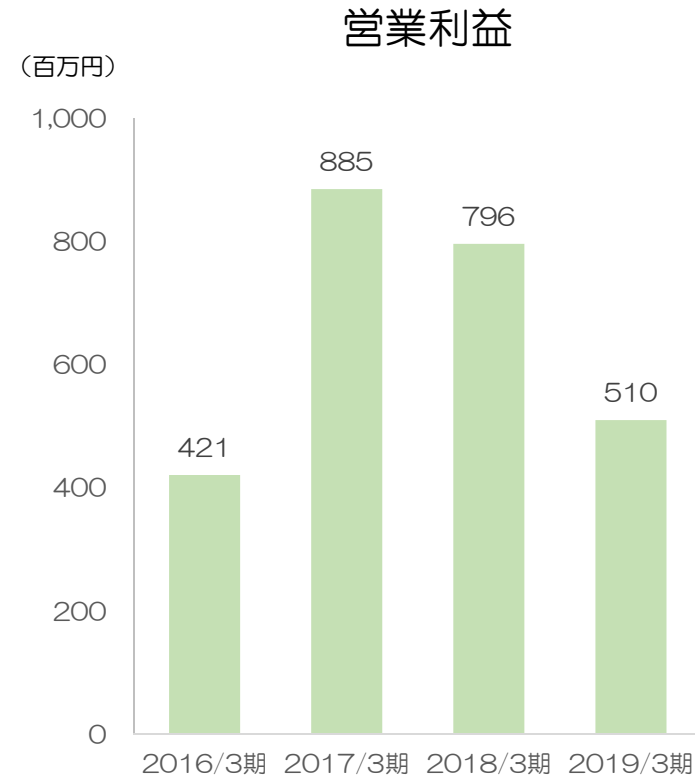
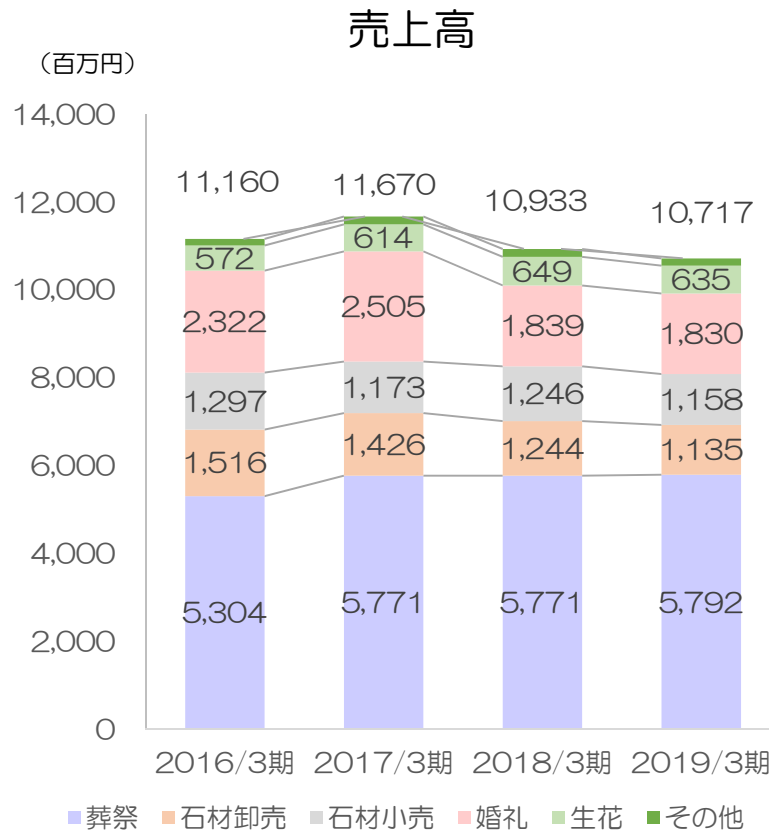
<たまのや> 葬祭会館	22施設
<With Wedding> 婚礼会場	6施設
<カンノ・トレーディング> 石材卸売事業所 石材小売店舗	1事業所 5店舗
<フルール> 生花営業所	1営業所
<ハートライン> 互助会営業所	3営業所
<こころガーデン> サービス付き高齢者向け住宅	1施設

■ 福島県を中心に東日本をカバー、中国にも拠点を展開

連結決算概要



連結決算概要



- (注) 1 百万円未満は切捨てて表示
 2 セグメント別売上高の「その他」は、互助会事業、介護部門、装販部門（棺・納棺具卸売）等

連結損益計算書

- 売上高は、葬祭事業における既存会館の葬儀単価の低下、石材卸売事業の販売数量の減少、石材小売事業の墓石単価の低下等により減収
- 営業利益・経常利益は、減収に加えて、経費や営業外費用の増加等により減益
- 当期純利益は、固定資産の減損損失を特別損失に計上したものの、特別利益が増加したこと等により増益

(百万円・%)

	2018/3期	2019/3期	前年同期 増減	前年同期 増減率
	金額	金額		
売上高	10,933	10,717	△ 216	△ 2.0
売上原価	7,301	7,312	11	0.2
売上総利益	3,632	3,404	△ 227	△ 6.3
販売管理費	2,836	2,894	58	2.1
営業利益	796	510	△ 285	△ 35.9
営業外損益	43	△ 3	△ 47	△ 108.8
経常利益	839	506	△ 332	△ 39.7
特別損益	△ 793	△ 102	691	△ 87.1
法人税等	△ 199	122	322	△ 161.5
当期純利益	245	281	35	14.5

連結貸借対照表

- 北関東互助センターの完全子会社化により固定資産と固定負債が増加
- 利益剰余金の増加等により純資産が増加

(百万円・%)

	2018/3期	2019/3期	増 減	増減率		2018/3期	2019/3期	増 減	増減率
	金 額	金 額				金 額	金 額		
現金及び預金	2,578	2,635	57	2.2	買入債務	342	333	△ 8	△ 2.4
売上債権	841	636	△ 204	△ 24.3	短期有利子負債	753	695	△ 57	△ 7.6
棚卸資産	510	458	△ 51	△ 10.2	その他	834	821	△ 13	△ 1.6
その他	872	542	△ 329	△ 37.8	流動負債 合計	1,930	1,850	△ 79	△ 4.1
流動資産 合計	4,801	4,273	△ 528	△ 11.0	長期有利子負債	1,197	781	△ 416	△ 34.7
有形固定資産	9,962	10,421	458	4.6	前受金	7,826	8,706	880	11.2
無形固定資産	248	506	258	104.2	その他	636	567	△ 68	△ 10.8
投資その他の資産	5,413	5,658	245	4.5	固定負債合計	9,660	10,055	395	4.1
投資有価証券	1,509	1,379	△ 129	△ 8.6	負債合計	11,590	11,906	316	2.7
営業保証金	618	588	△ 29	△ 4.8	資本金	500	500	0	0.0
その他	3,285	3,689	404	12.3	利益剰余金	6,171	6,337	166	2.7
固定資産合計	15,624	16,586	962	6.2	純資産合計	8,835	8,952	117	1.3
資産 合計	20,425	20,859	433	2.1	負債・純資産合計	20,425	20,859	433	2.1

流動資産…受取手形及び売掛金、有価証券、未収還付法人税等が減少
 固定資産…前払式特定取引前受金保全のための金銭供託により供託金が増加、北関東互助センターの完全子会社化等に伴い有形固定資産合計額、のれんが増加

流動負債…短期借入金が減少
 固定負債…長期借入金が減少した一方、北関東互助センターの完全子会社化等に伴い前払式特定取引前受金が増加
 純資産 …その他有価証券評価差額金が減少した一方、利益剰余金が増加

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を2019/3期の期首から適用しており、2018/3期についても遡及処理後の数値で比較

連結キャッシュフロー計算書

■ キャッシュは成長投資及び借入金の返済へ

(百万円)

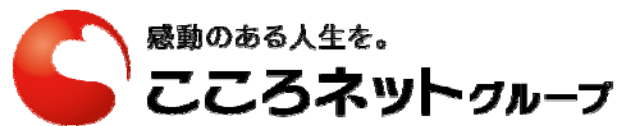
	2018/3期	2019/3期
税金等調整前当期純利益	45	404
減価償却費	500	447
減損損失	-	133
売上債権の増減額（△は増加）	△ 123	208
法人税等の支払額または還付額	△ 468	130
その他	523	△ 40
営業活動によるキャッシュフロー	477	1,283
有形固定資産の取得による支出	△ 306	△ 308
有形固定資産の売却による収入	626	0
その他	△ 195	△ 109
投資活動によるキャッシュフロー	124	△ 417
長期借入れによる収入	820	350
長期借入金の返済による支出	△ 955	△ 743
その他	△ 440	△ 297
財務活動によるキャッシュフロー	△ 576	△ 690
現金・現金同等物の増減額	26	175
現金・現金同等物の期首残高	1,659	1,686
現金・現金同等物の期末残高	1,686	1,861

主な設備投資

(百万円)

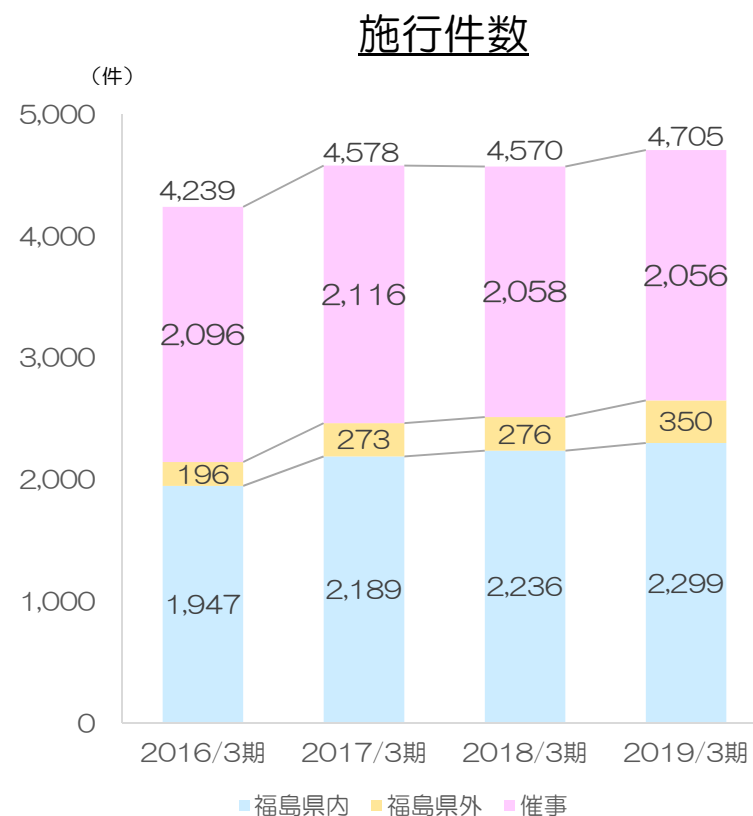
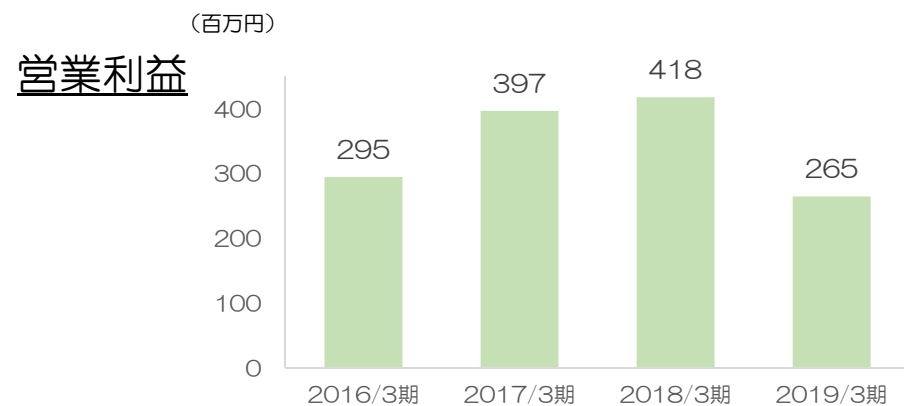
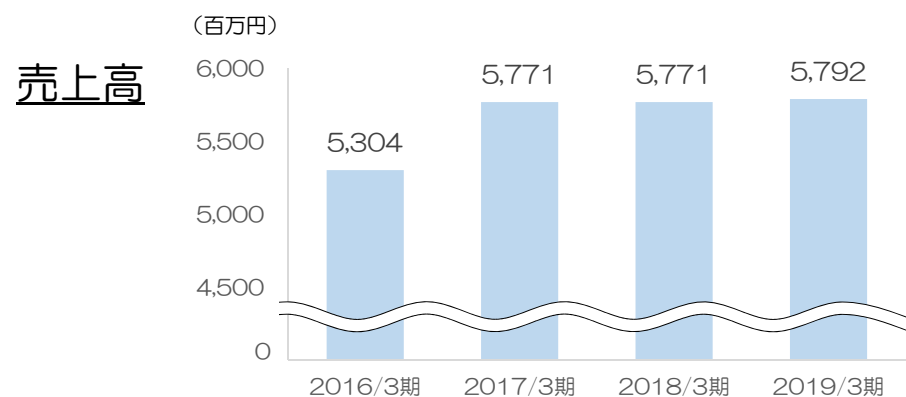
当社グループの設備投資の総額	394
内、葬祭会館の新設	90
内、葬祭会館の改築	35
内、婚礼会場の改築	26
内、基幹システムの刷新	96

事業別決算概要



葬祭事業

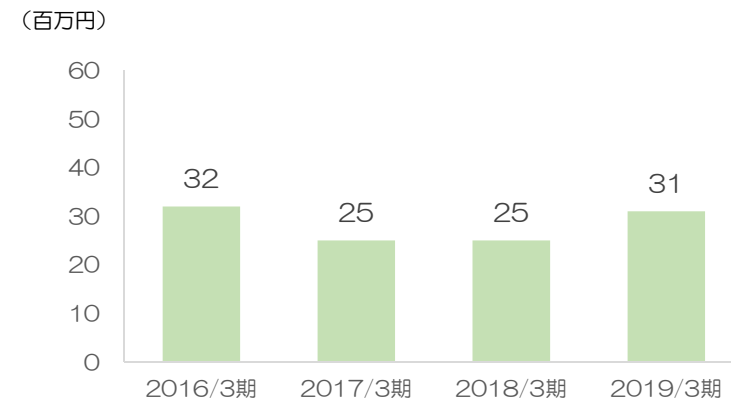
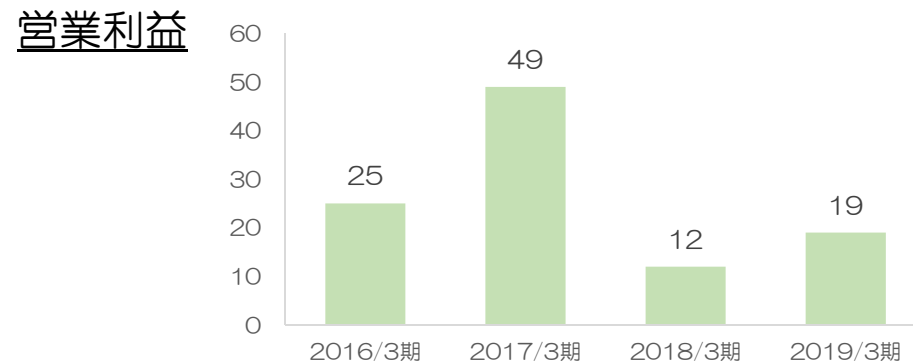
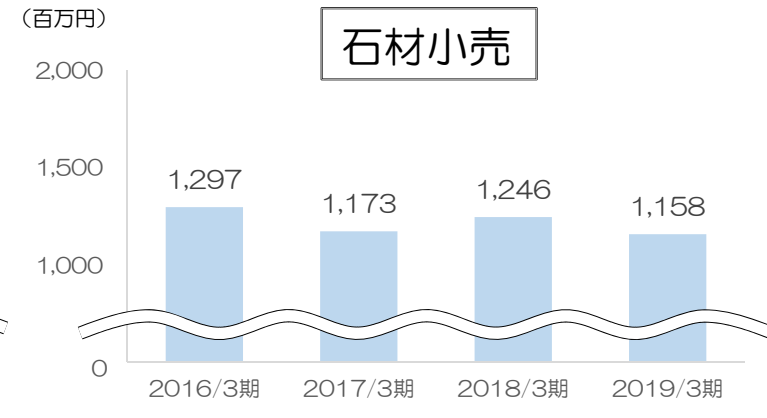
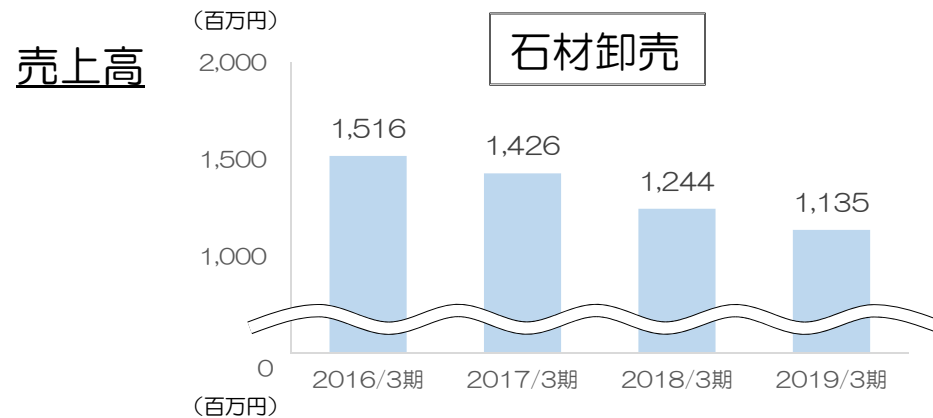
- 小規模会館の新設や既存会館の改築など小規模葬儀需要の取り込みに努めたこと、北関東互助センターの完全子会社化を実施したこと等により増収
- 葬儀単価の低下、広告宣伝費や人件費の増加等により減益



(注) 営業利益はセグメント間の内部取引分または振替高を含む

石材事業

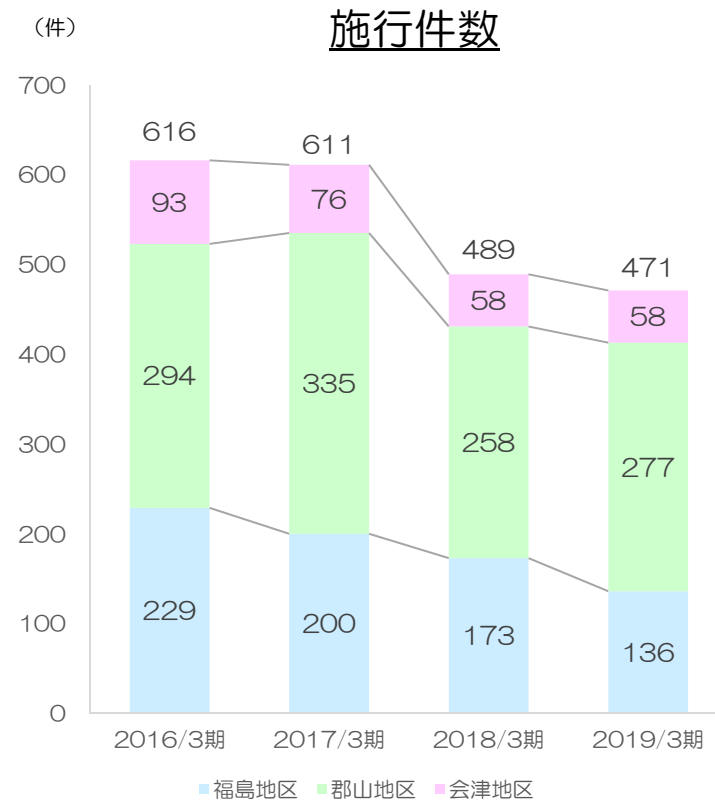
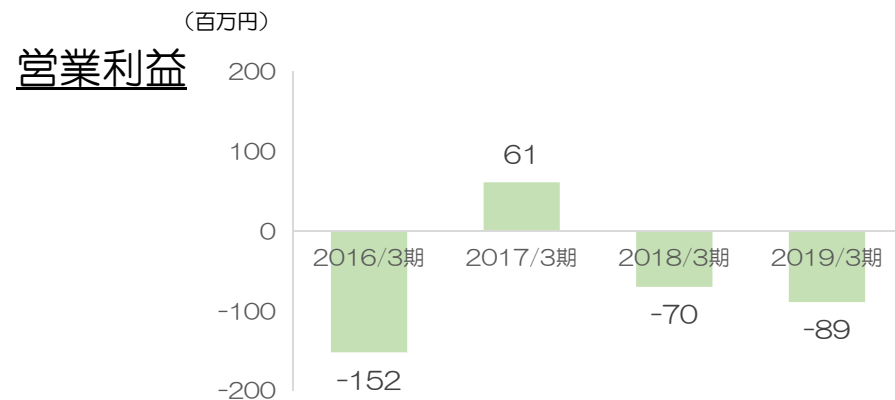
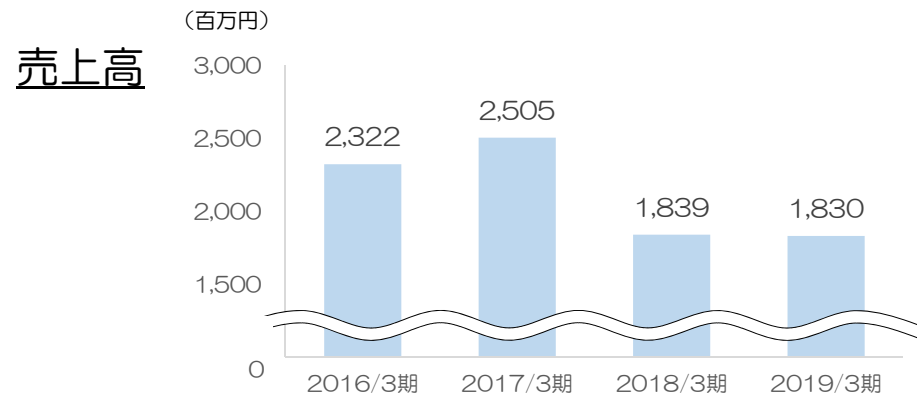
- 石材卸売は、墓石需要の低迷が継続し、受注件数が不足したこと等により減収
仕入コストの圧縮や経費削減、業務効率化等により増益
- 石材小売は、墓石の新規建立件数は増加したが、墓石単価の低下等により減収
仕入コストの圧縮等により増益



(注) 営業利益はセグメント間の内部取引分または振替高を含む

婚礼事業

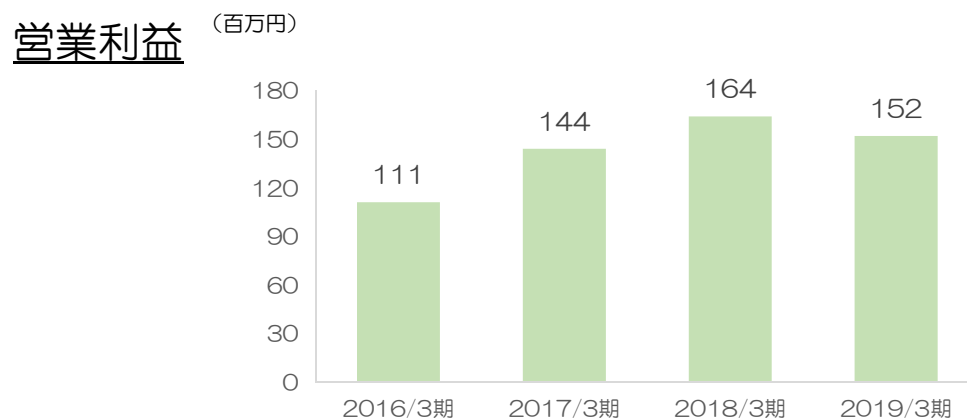
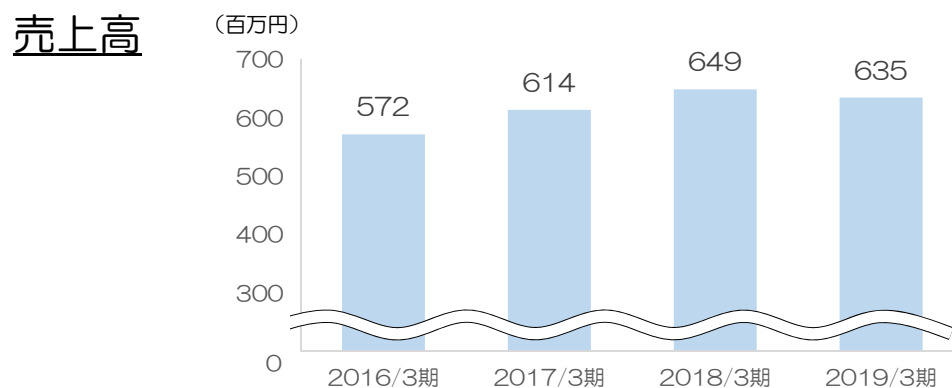
- 婚礼件数の減少傾向、婚礼ニーズの変化、同業他社との競争等が継続する中、当社の婚礼会場でも施行件数が減少したこと等により減収
- 減収に加えて、広告宣伝費や業務委託費の増加等により減益



(注) 営業利益はセグメント間の内部取引分または振替高を含む

生花事業

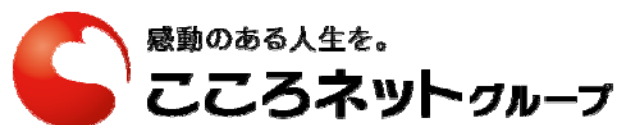
- 葬儀の小規模化に伴い生花需要が低調に推移する中、新規取引先の開拓と既存取引先への深耕等に注力したが減収減益



(注) 営業利益はセグメント間の内部取引分または振替高を含む

新中期経営計画の概要

(2020年3月期～2022年3月期)



基本方針

1. 「使う力」を駆使して「稼ぐ力」を創出

2. 成長分野への資源集中

3. 生産性追求と働く環境の整備

重点施策

成長分野への資源集中

- ・ 事業ポートフォリオの再構築
- ・ 経営資源の適正配分
- ・ 新分野・海外への資源投入

生産性追求

- ・ BPRの推進
- ・ 未来型テクノロジーの調査・導入

人財開発と働く環境の整備

- ・ リーダー人財の育成
- ・ 働きがいをもつ環境づくり

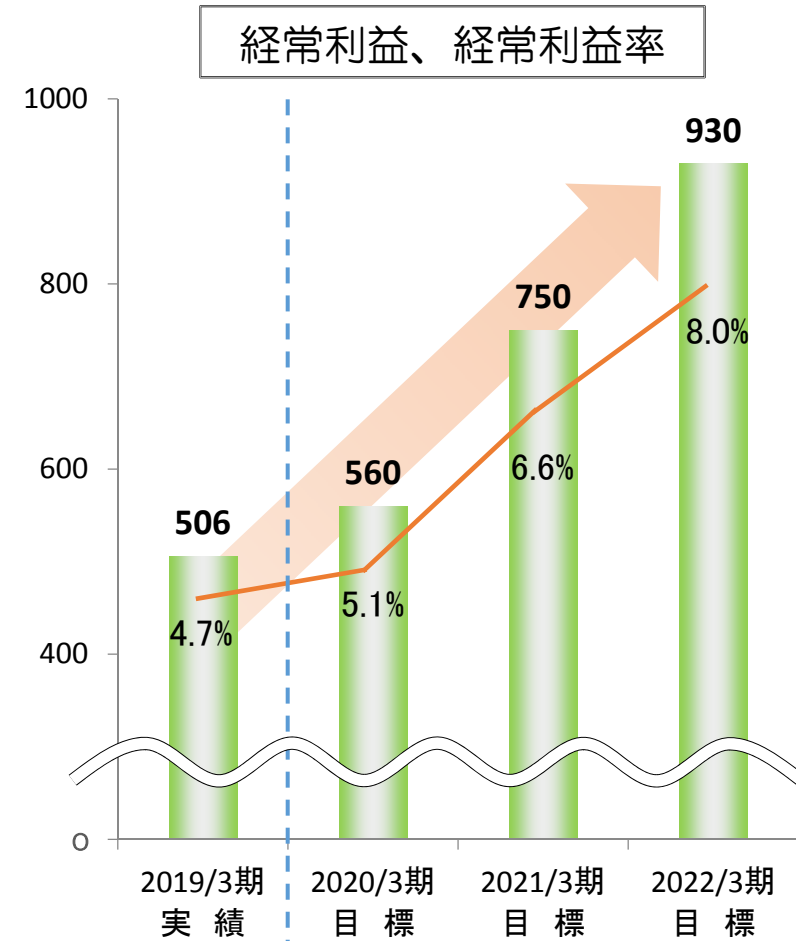
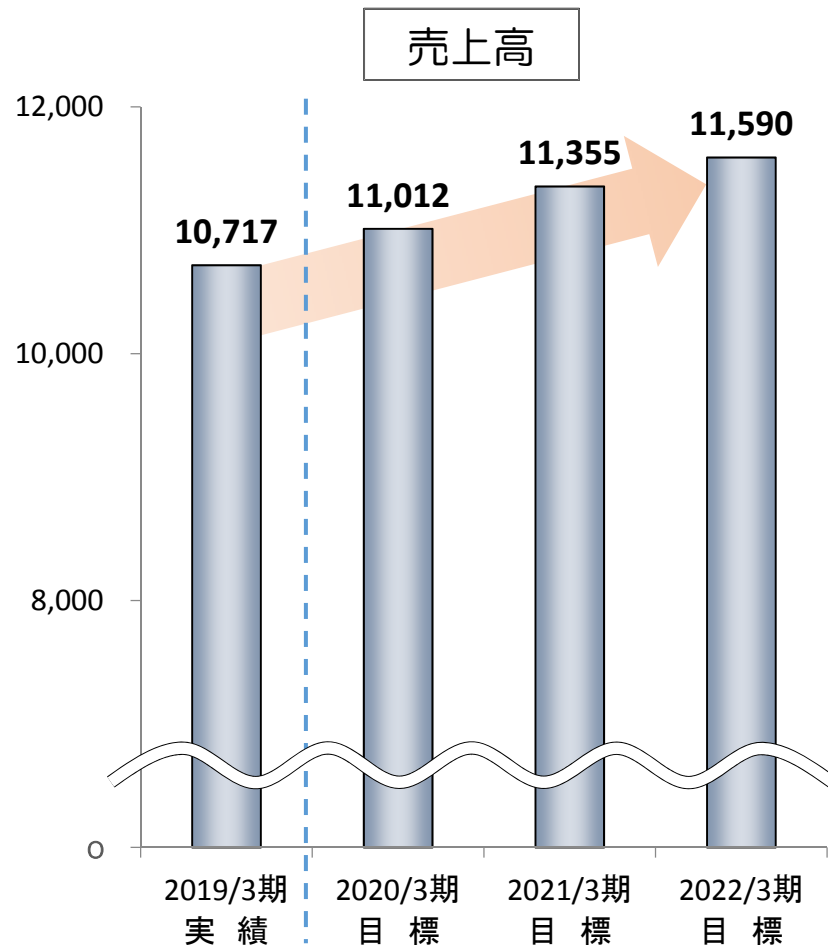
数値目標①

損益目標：利益の伸長を重視

	2019年 3月期 実績 (百万円)	2020年 3月期 目標 (百万円)	2021年 3月期 目標 (百万円)	2022年 3月期 目標 (百万円)	2019年 3月期からの 増加率(%)
売上高	10,717	11,012	11,355	11,590	8.1
営業利益	510	520	680	860	68.7
営業利益率(%)	4.8	4.7	6.0	7.4	2.6ポイント
経常利益	506	560	750	930	83.7
経常利益率(%)	4.7	5.1	6.6	8.0	3.3ポイント

数値目標②

(単位：百万円・%)



— 経常利益率

今期の業績・配当予想

(百万円・%)

	2019/3期 実績	2020/3期 予想	増減	増減率 (%)
	金額	金額		
売上高	10,717	11,012	294	2.8
営業利益	510	520	10	2.0
経常利益	506	560	53	10.6
純利益	281	380	99	35.4
1株当たり純利益 (円)	73.21	99.10	—	—
1株当たり配当金 (円)	30.00	30.00	—	—
配当性向 (%)	41.0	30.3	—	—

事業別施策①

葬祭事業

【営業強化】

高品質サービスでの差別化、料金プランの明瞭化、
Web戦略の抜本的見直し、営業推進・会員募集の強化等

【収益力の強化】

高付加価値商品の導入、アフター商品の受注強化、
ローコストオペレーションの構築等



石材事業

【販売力の強化】

営業部門の再編と営業手法の見直し、
WebやITツールの活用、差別化商品の販促等

【営業基盤の拡充】

屋内納骨堂の販売加速、寺院取引促進、
取扱商材の拡充、供養周辺サービスの推進等



事業別施策②

婚礼事業

【営業強化】

マーケティング・広告宣伝の機能強化による来館数の確保、提案力・接客力の向上による成約数の確保、紹介営業の強化、衣裳・料理・オプション商品の販売促進、宴会の受注強化等



【収益力の強化】

内製化と外注化の見極め、ローコストオペレーションの構築等

生花事業

【営業基盤の拡充】

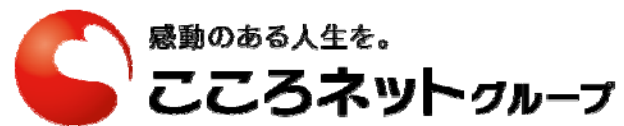
新規取引先の獲得、営業所新設の検討等

【仕入体制の強化】

取引市場や物流の見直し、営業所間の連携強化、仕入バイヤーの育成等



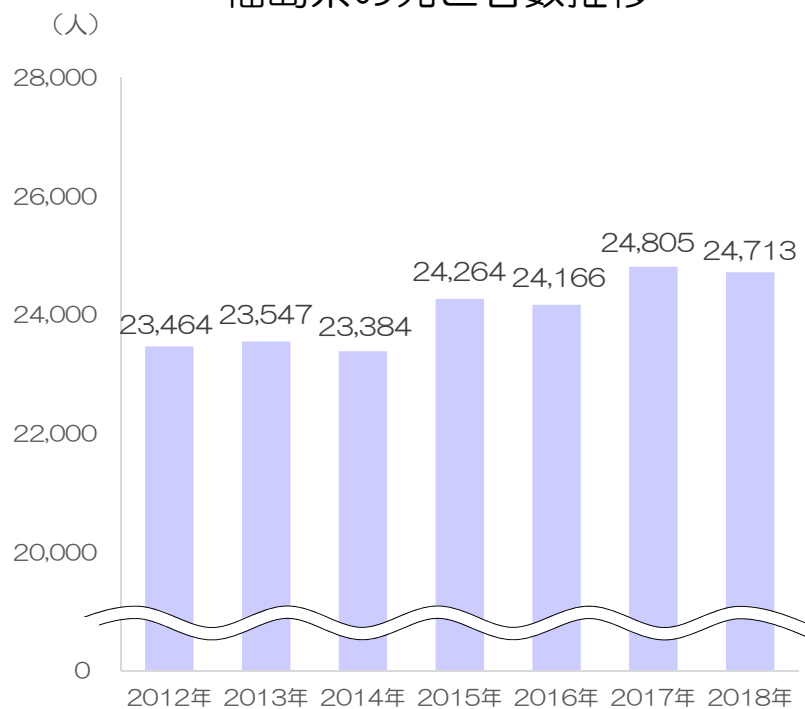
参考資料



葬祭資料

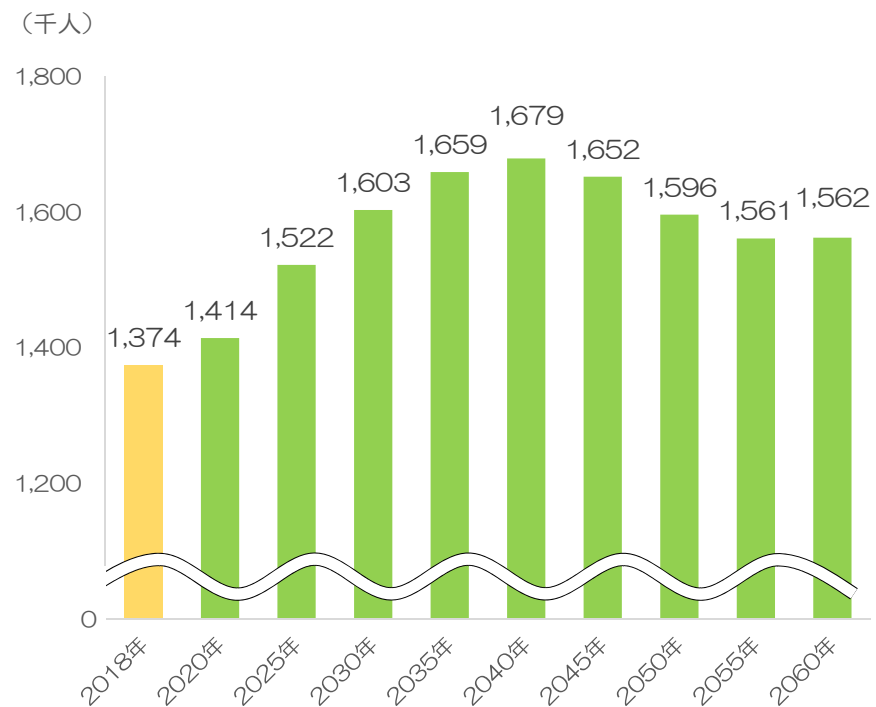
死亡者数は今後も増加傾向

福島県の死亡者数推移



※福島県HP「福島県の推計人口」より作成

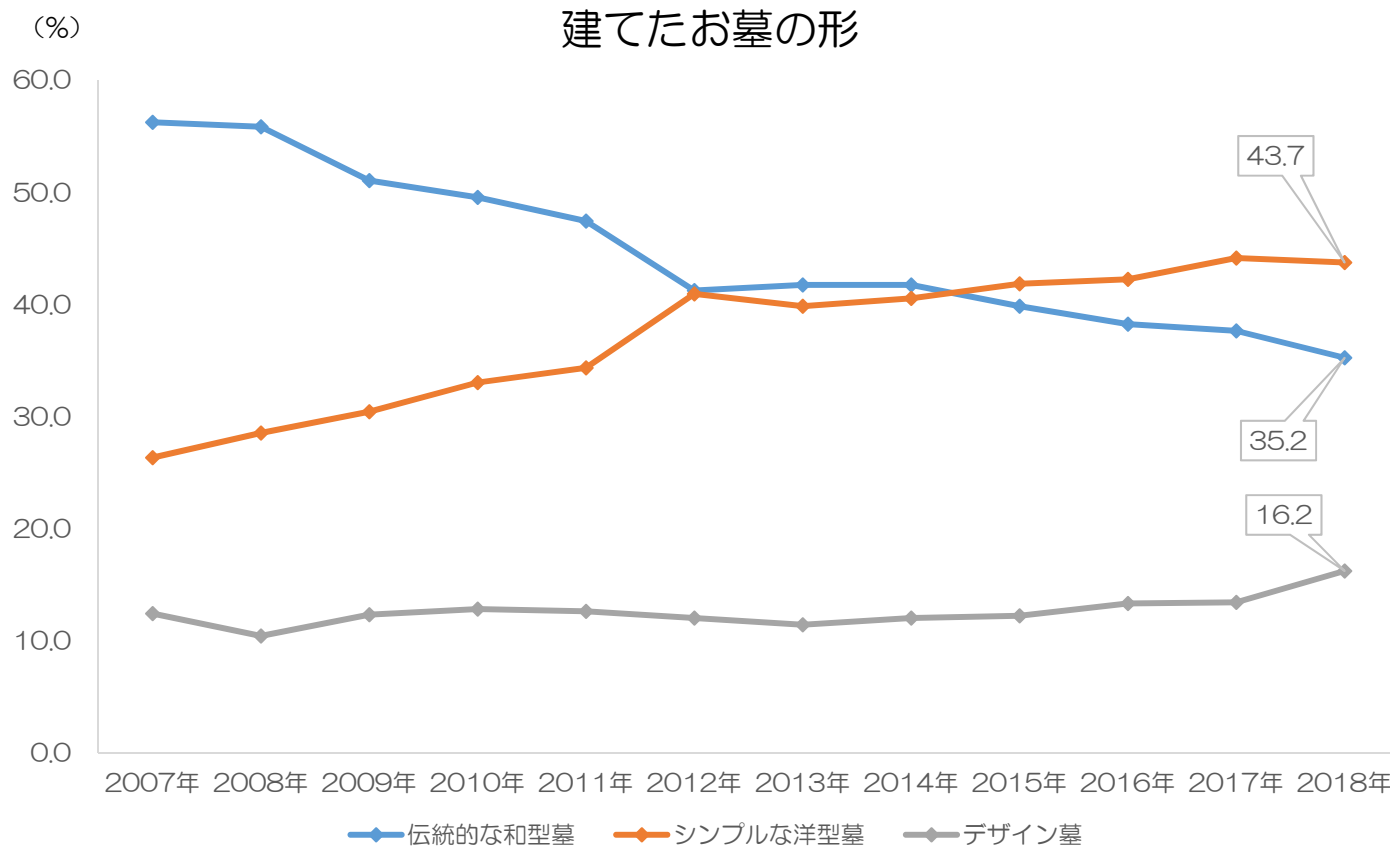
全国死亡者数予測



※2018年は、厚生労働省「人口動態調査：速報値」より、2020年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計・死亡中位）」より作成

石材資料

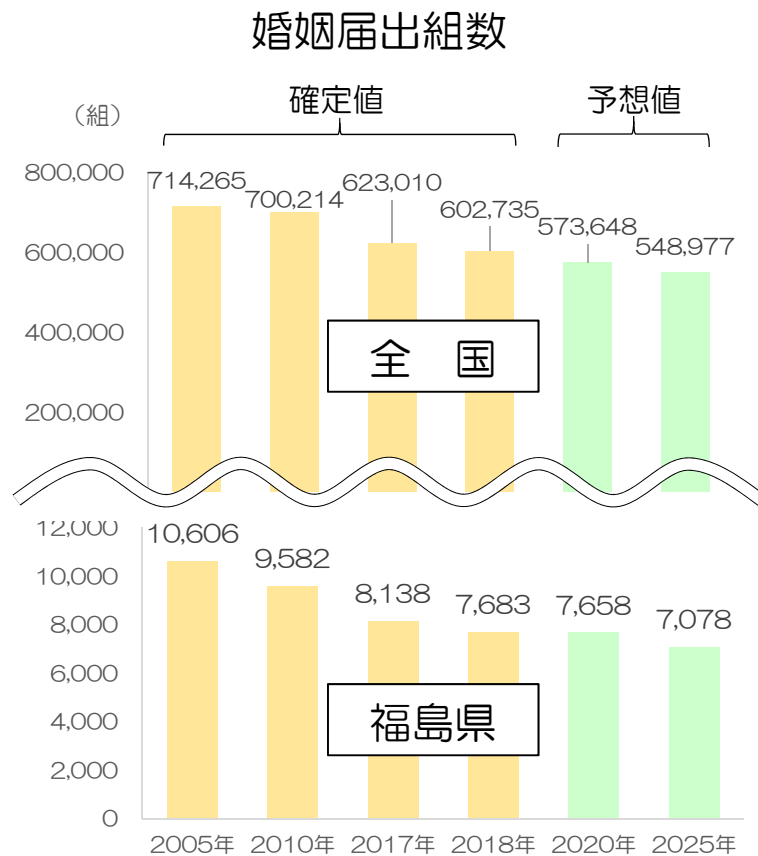
伝統的な和型墓石の新規建立割合は今後も減少見込み



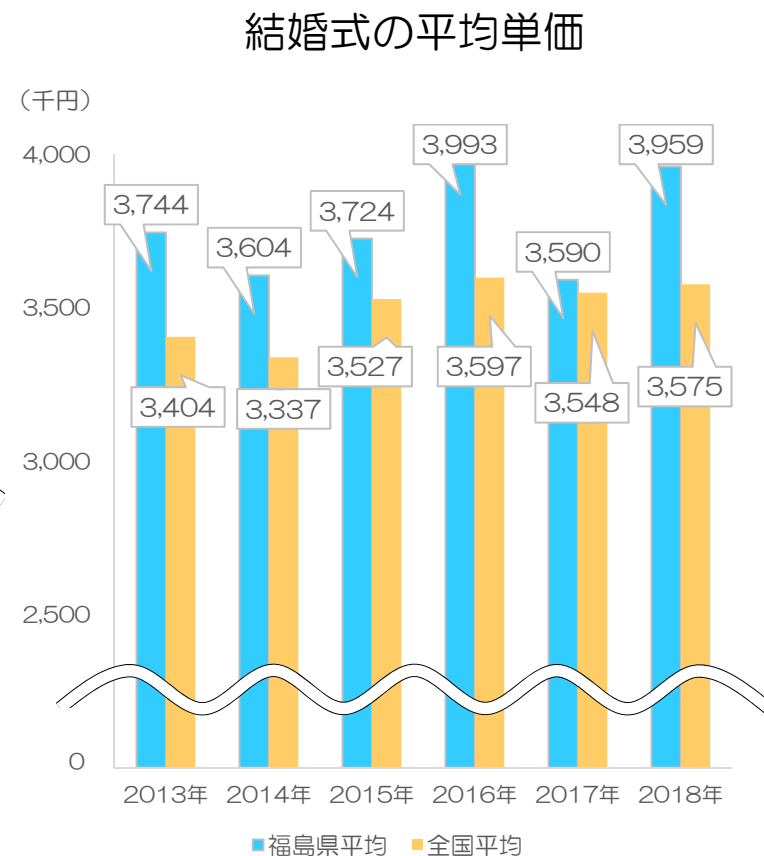
※ 全優石 「2018年版 お墓購入者アンケート調査」より作成

婚礼資料

婚礼件数は減少傾向、福島県の婚礼単価は高水準を維持



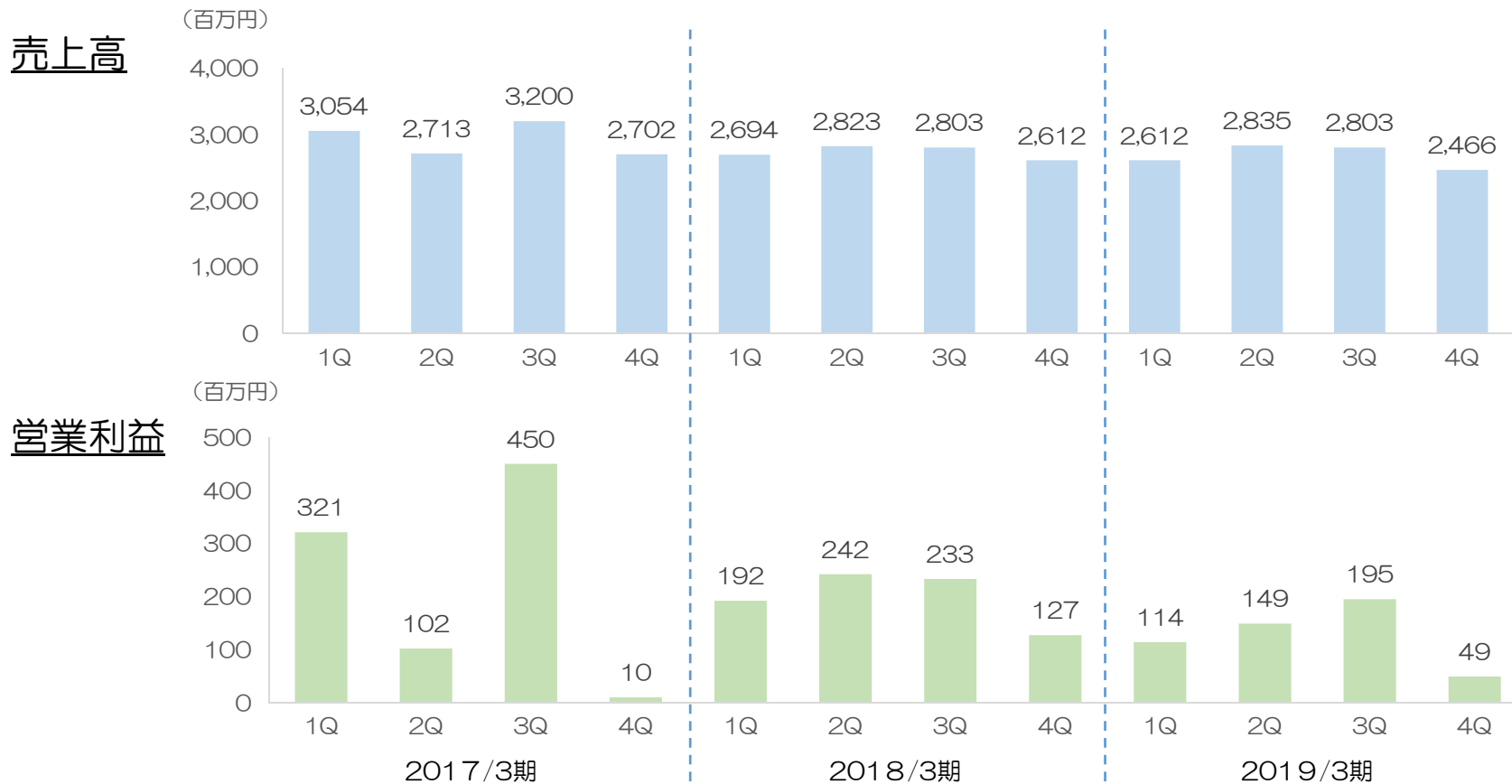
※確定値は、厚生労働省「人口動態調査」より、予想値はリクルートブライダル総研「婚姻組数予測（2019/3更新）」より作成



※リクルートブライダル総研「結婚トレンド調査2018」より作成

四半期連結業績の推移

以前は第2、第4四半期が例年ボトムだったが、
葬儀事業の業況変化(葬儀単価の低下等)により、季節変動がフラット化



トピックス① 小規模葬祭会館の新築オープン

2018年7月、連結子会社である株式会社たまのやが茨城県取手市に「こころ斎苑 SOU取手」を新築オープン

「こころ斎苑 SOU取手」（茨城県取手市井野台二丁目3番18号）	
施設タイプ	施設の特徴
<ul style="list-style-type: none">■ 1日1葬儀貸切型■ 家族葬専用葬祭会館（最大収容人数50名）■ 直葬（火葬のみのスタイル）にも対応	<ul style="list-style-type: none">① 宗旨・宗派不問、柔軟に対応可能なメイン祭壇② ビュッフェスタイルの食事提供も可能③ ベッドルーム、和室、浴室を完備した遺族控室④ 安置専用室を完備（24時間365日対応）⑤ 全館バリアフリー設計、多目的トイレ完備



▲外観



▲セレモニーホール



▲遺族控室

トピックス② (株)北関東互助センターの子会社化

2018年12月3日付で株式会社北関東互助センターを完全子会社化し、
葬祭事業、互助会事業における営業エリアを拡大

■ 株式会社北関東互助センター（栃木県宇都宮市山本一丁目2番8号）

業歴44年を超える
冠婚葬祭事業及び
互助会事業会社

地域に根差した営業
により安定した業績

資本金40百万円
1974年設立



▲セレモニーホール はまつ斎苑



▲セレモニーホール やなせ



▲メモリアル さくら想

社会貢献活動への取組み

- 「東日本大震災福島子ども寄附金」への寄附
- その他各種寄附の継続

福祉分野

- 地元スポーツチームへの協賛
- 終活・健康セミナー等の開催
- 慰霊祭、供養祭、仏教行事等の手伝い

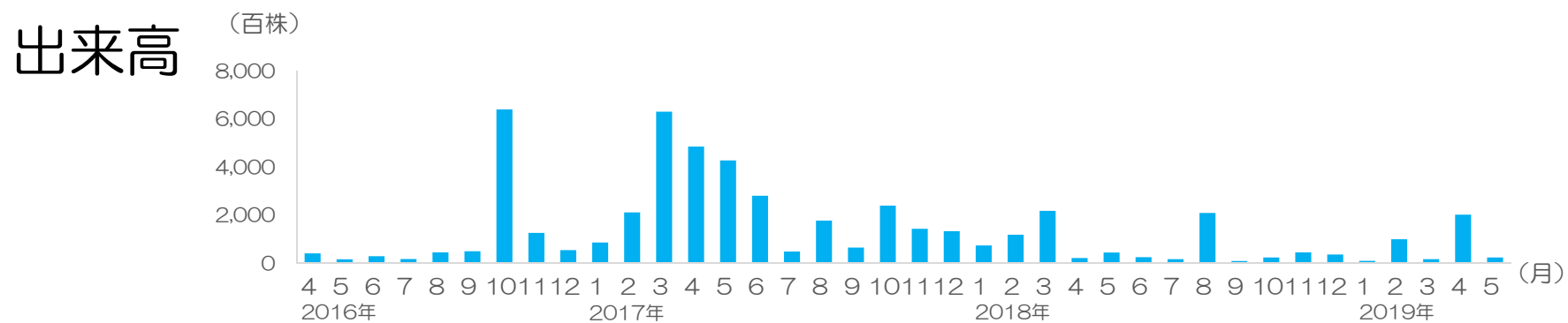
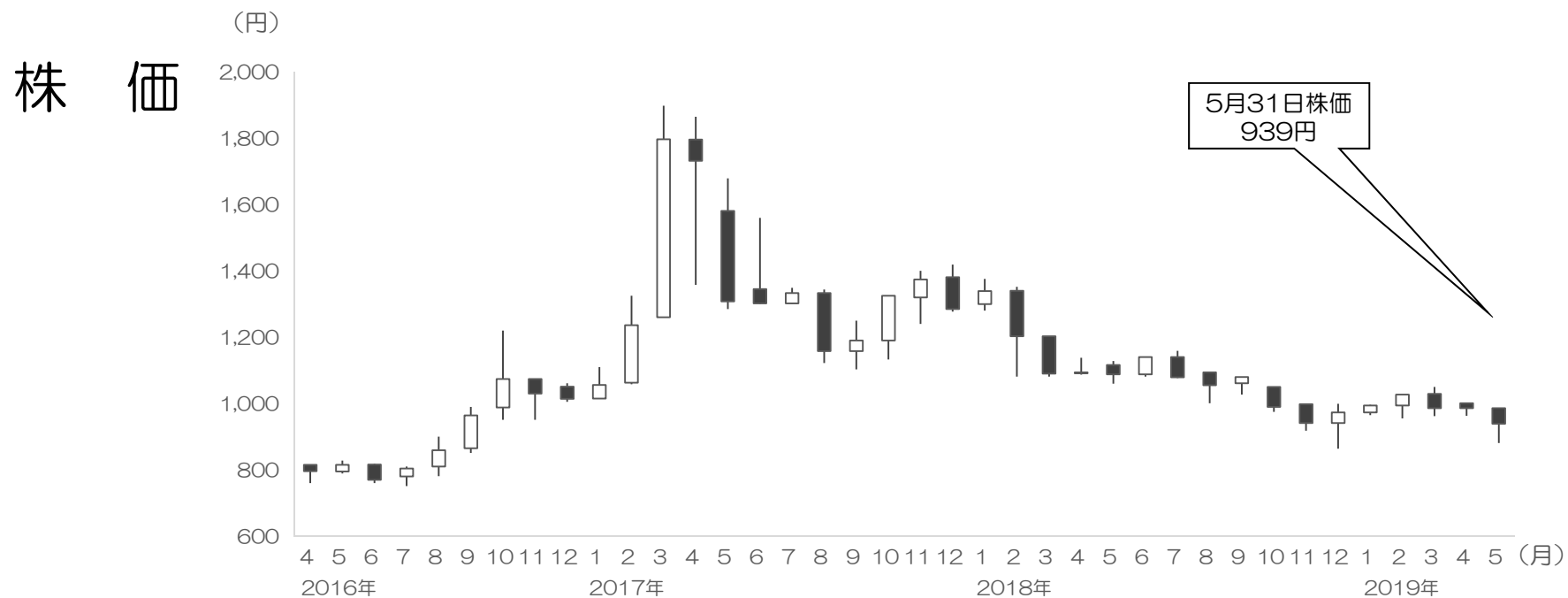
環境分野

- 地域清掃活動への参加
- 照明のLED化推進

文化・スポーツ分野

今後更に、環境問題への取組み、働く環境の整備、ガバナンスの実効性強化等のサステナビリティ目標を設定し、ESG推進及び企業価値向上による社会貢献を目指していく

株価推移



※株価・出来高は、2019年5月31日までのものです。

注意事項

- 当資料に記載した内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるようお願いいたします。
- 本資料に関するお問合せ先
 こころネット株式会社
 I R担当：経営企画部 大和田 正純
 TEL 024-573-6556